

2014 年 8 月



CUFP

REGULAR REPORT VOL. 10



Chiba University Formula Project 2014

大会直前号

14年度の大会前最後の活動報告書です。主に8月に行われた合同試走会についてご報告いたします。

1.富士試走会

上野 涼(機械工学科4年)

8月4～6日にかけて富士スピードウェイで行われた富士試走会に参加しました。大学のテスト期間と重なり、5人(最終日のみ7人)の少人数での参加となりました。例年、車検を目的として参加していた富士試走会ですが、今年度は参加校屈指の走り込みを行い、6種類のシャシーセッティングを試すことが出来ました。

車検では、操舵系の遊びが大きい、騒音が115dB(110dBまで可)などの指摘を受けました。アクセラとスキッドパッドでは、1回目の走行からCUFP歴代最速のタイムを刻むことが出来ました。特にアクセラではフラットシフトとトラクションコントロールの効果もあり、6日の最速タイムを記録しました。今年から、富士試走会の周回コースが大会コースを模したレイアウトに変更され、より本番に近い走行テストとなりました。課題としていた低速コーナーも、サスペンションセッティングにより大きく改善され、1周1分弱のコースで3秒以上短縮し、強豪校までコンマ数秒というタイムに到達することが出来ました。最終的にボトルネックとなった後輪のグリップ不足の解消は、製作中のハブ・アップライトによるキャンバー剛性の向上に期待したいです。

今回の試走会はエースドライバーがただ一人で全走行を行ったため、セッティングに集中することができ、今後の車両開発に生かせる貴重なデータ取りを行うことが出来ました。



2.茂木試走会

桂 祐樹(機械工学科 4年)

8月21日(木)～22日(金)にツインリンク茂木にて開催されましたもてぎ試走会に参加いたしました。今回は富士試走会に比べてメンバーも14名、ドライバーも4名全員参加することができました。そして写真にもあるように、カウルをつけて走行に臨むことができ、ほぼ大会仕様の状態での試走となりました。

車検、ブレーキテストと順調に通過し、余裕をもって走行を開始することができました。2日間で周回走行は鐘ヶ江が22周、桐井が19周、小川が48周で計89周。アクセラは石本が3本を走行することができました。しかし、2日目の走行時間終了の直前の走行中にステアリングシャフトが折れるというトラブルが起きました。ドライバーである小川に怪我などはなかったのは幸いでしたが、この大会直前の時期に大きなトラブルに見舞われてしまいました。ですが、これが大会のエンデュランス中でなかったことが何よりでした。

7月に入ってから、順調に試走会を進めて行ってきたため、このトラブルで焦りはしましたが大会直前といってもまだ1週間あります。今までの試走会でかなりの距離を走れはしましたが、エンデュランスの22kmを走り切れるという保障はありません。大会を終えるまで緊張感を持ち、マシンに最新の注意を払って悔いの残らないようにあと1週間、2014年度のプロジェクトを進めて行こうと思います。



3.茂木試走会(ドライバーコメント)

小川 和也(機械工学科 2年)



今回の試走会は1週間前のNATSでの試走以来で、前回は車の調子がよくなかったため思うように走行できませんでしたが今回は万全の状態です。今回はタイムを出すことに意識を集中し自分や車の限界を引き出せるように走行したことで、自分の課題を明確に理解することができました。その課題というのがスラロームで、ここをもっと改善できれば大会でもより良いタイムに近づくことができると思います。

先輩の指導もあり後半では良いイメージと感覚をつかむことができたので大会に向けて徹底的に磨きあげていきたいと思っています。タイムに関してはまだ自分で納得できる程よくはありませんでしたが、課題が発見できたことと数多くの走行をこなせたことで非常に充実した試走会になりました。

4.カウル製作

大倉 僚馬(デザイン学科 4年)

本年度のカウルは予定通り茂木試走会に合わせて完成させることが出来ました。例年は完成が大会直前になることが多かったのですが、本年度はカウルをつけた状態でしっかりとテスト走行を行い大会に望むことができそうです。

本年度の製作ではレーザー裁断機で製作する木型の断面を例年よりも大幅に増やして製作しました。これによって雄型の製作をスムーズに行うことが出来ました。製品は2plyのGFRPで軽さと強度を兼ね備えたカウルとなっております。

カウルが取り付けられたことでマシンの見栄えもぐっと良くなりました。フレーム形状を生かし、メインフープから始まりフロントフープへ突き抜け、先端に向かう気持ちのいい流れとフロントバルクヘッド付近で膨らみ先端に収束する力強い流れの2つがメインテーマとなっております。本年度はサイドポンツーン形状にもこだわりました。張りのあるアールと下端の搾りこまれる形状がポイントです。また本年度はメインフープの後ろまで

カウルが回り込んでいるので全体のまとまりもよくなっております。

大会までにじっくりと磨き上げ、塗装をして美しく仕上げたいと思っております。



スポンサー

私達、千葉大学フォーミュラプロジェクトの活動は以下の企業、団体様よりご協力いただいております。このような貴重な勉強の場を与えて下さいましたことに、心よりお礼申し上げます。

※敬称略(五十音順)

企業・団体スポンサー様

Altrack	サイバネットシステム株式会社
出光興産株式会社	新宿ラヂエーター
エヌ・エム・ビー販売株式会社	スーパーオートバックス市川店
NTN 株式会社	住鋳潤滑剤株式会社
学校法人 日栄学園 日本自動車大学校	住友電装株式会社
株式会社 IHI	ソリッドワークス・ジャパン株式会社
株式会社今村商事	ダウ化工株式会社
株式会社エフ・シー・シー	タカタ株式会社
株式会社キノクニエンタープライズ	千葉大学
株式会社日下製作所	千葉大学 工学同窓会
株式会社城南キー	千葉大学材料加工学研究室 OB
株式会社デンソー	千葉大学フォーミュラプロジェクト OB
株式会社トーキン	東北ラヂエーター株式会社
株式会社東日製作所	トップラインプロダクト
株式会社トヨタレンタリース千葉	日信工業株式会社
株式会社ハイレックスコーポレーション	日本精工株式会社 (NSK)
株式会社深井製作所	日本発条株式会社
株式会社ミスミ	ビルドダメージ
株式会社メタルワークス	丸紅情報システムズ株式会社
株式会社ユタカ技研	ヤマハ発動機株式会社
株式会社レイズ	有限会社葵不動産
株式会社ワークスベル	有限会社茂原ツインサーキット
協和工業株式会社	レイクラフトレーシングサービス
京葉ベンド株式会社	

個人スポンサー様

芦田 尚道
荒井 俊行
伊藤 裕
紺野 浩之
佐藤 陽
鈴木 明晃
田辺 真之
千葉 健太郎
戸井田 一宣
平柳 光
松崎 哲

Special Thanks

千葉大学工学部
千葉大学工学部実習工場
千葉大学自動車部
ホンダマイスタークラブ
レーシングガレージ ENOMOTO

今後も定期的に私たちの活動の様子をお伝えして参ります。

CUFP2014 活動報告書 Vol.10
発行：千葉大学フォーミュラプロジェクト
URL: <http://www.chiba-formula.com/>

2014 年度プロジェクトリーダー 桂祐樹
Mail: aaka2357@chiba-u.jp